

炊き出し

班長 楠元 留美子

やかな笑顔でした。
参加者の多くは学生でしたが、みんなに代表からカイロなどのゆとりを問われると一斉に順番に接しまし



ケーキと子ども

班長 住む家がなく、定職もなく、収入もないことが外観からすぐわかります。外気温の低さ、雪がある中でどうやって生き延びているか驚きでした。お会いした方は柔軟なお人柄でした。決して、物乞いするような態度はなく、寒い中でも

東北ボランティアがきつかけ
2014年2月、宮城県二

2014年2月、宮城県石

翌日、地域の視察では、被害が甚大であり慘憺たる現状であった。その被災住宅の残骸を乗り越えて救済活動を行う事でした。

神戸国際支縁機構の代表と被災視察し、その時に話したこと、「前日、松の木の天辺で鳩がカーと泣いて居ました。翌日は松の上でカー（車）が打ち上げられて居ました」と。

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 <携帯 070-5045-7127>
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】阿部 捷一
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
Tel(0225)24-3107
E-mail:cp_abe@royal.ocn.ne.jp

年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

卷頭言 震災の記憶

渡波3丁目の自主防災部長
佐藤金一郎

阪神・淡路大震災以降、ご飯が食べられないくなつた人たちが神戸市三宮の市役所隣の東遊園地にいるとのことです。機構と二人三脚で弱者に仕える新生田川共生会の有川善

雄代表は2013年7月に亡くなられ、炊き出しが中斷していました。炊き出しをする後継者がいないのです。路上生活者にお会いしたメンバーたち、中野彰太さん、坂本圭子さんが神戸に戻って、炊き出しをしたいという希望を発しました。ボランティアから帰り、事務局に集まってほしいとの連絡に休日でもあったので、なんとなく出席してみると、炊き出しをするかどうかの真剣な話し合いでした。調理の資格のある私にみなさんの期待の視線があり、断れない雰囲気です。どのように食材を集め、どこでだれが調理をすべきか、まったくゼロからの取り組みです。

米、食材などの調達、調理場所は代表が引き受けける条件で、いつしか、調理は担当させていただくようになつてきました。お金のない機構に、「阪神宗教者の会」の西福寺、玉龍寺、釜ヶ崎の川浪剛僧侶のところから不思議な方法で備えられました。調理場所も神戸フライラデルフィヤ教会（大嶋善直牧師）の2

炊き出し開始

2014年3月、機構の本田哲郎理事が二回目に集まつた有志たちに助言をくださいました。「炊き出しだけではなく、炊き出しを受けねばならない側に、キリストはおられる。」の言葉はどういう意味かすぐにはわかりませんでした。

戸惑いと、たくさんの不安を抱えながら、恐る恐る、でも、一方では、「どうにかなるさ！」という楽観も、少々、持ちつつ、毎週木曜日の「焼き出し」は、始まったのです。いつも、何か時間に追われているかのようなAさん、神戸のメインロードのフラワーロードを横目に見ながら、簡易ベッドに横になり、柵には温度計を吊るし、夏には、自身と二匹の親子の愛猫の為、蚊取り線香を焚くBさんは、博学で読書好き。廃品回収の「目利き」で、生計を立てているそうです。驚くべき論客で博学の礼儀正しいCさん、いつも、一緒に待っていて下さるDさん、沖縄出身のFさんには、猛烈台風の情報や、南国の果物のこと教えていただきました。



雪の降る東遊園地 1月1日

続
く



から林業ボランティア班長として委ねられました。石巻森林組合の山下さん(78歳)、佐川浩章さん(43歳)たちは待つておられました。山で何十年も生活の場として、植林、枝打ち、炭焼きなどをなさってきたベテランとお会いしましたから緊張します。山の麓にあり、すでに伐採された何種類もの木が何本も横長さは1mくらい、直径は20cmほどの材木があります。最初に、代表が木の種類について親しむように木村さんに説明をお願いしました。松、山桜、楓、栗などです。説明は受けるものなかなか違いがわかりません。東北弁ですからなおさらです。真っ直ぐに伸びる「ホオノキ」はこたつ櫓や、下駄の歯に使われます。木オノキは山里の周辺の低山によく生えています。葉は大きく、7枚ぐらいの葉が風車のよう輪にならて付いています。木村さんは70年前、子ども時代、よく風車をつくりました。

「栗」は成長が早く、よく燃えるので薪木に向いています。柔らかく細工しやすく、乾燥すると固くなります。釘を使わずに木と木を組み合わせた家具・指物に用いました。線路の枕木に使われたりします。「オオバクロモジ」というクスノキ科の木はつまようじになります。燃すとよい香りが部屋全体にひろがるので、囲炉裏で用いられたと説明されます。

薪づくり

まずは1mほど長さの木材を3分の1に切り分けます。チョークで3等分にするしを入れ、エーンソーでカットして行きます。エーンソーの操作は講習会などで学んだ者しか使用できません。木村さんが切斷した木材を今度は、薪割り機で30cmほどの薪サイズにします。斧でキヤンプファイアの木を作る際、堅い木だとすぐに音を上げてしまいます。櫻、楓、桑、

人が来るのを木村貞一さん(78歳)、佐川浩章さん(43歳)たちは待つておられました。山で何十年も生活の場として、植林、枝打ち、炭焼きなどをなさってきたベテランとお会いしましたから緊張します。山の麓にあり、すでに伐採された何種類もの木が何本も横長さは1mくらい、直径は20cmほどの材木があります。最初に、代表が木の種類について親しむように木村さんに説明をお願いしました。松、山桜、楓、栗などです。説明は受けるものなかなか違いがわかりません。東北弁ですからなおさらです。真っ直ぐに伸びる「ホオノキ」はこたつ櫓や、下駄の歯に使われます。木オノキは山里の周辺の低山によく生えています。葉は大きく、7枚ぐらいの葉が風車のよう輪にならて付いています。木村さんは70年前、

親しむように木村さんに説明をお願いしました。松、山桜、楓、栗などです。説明は受けるものなかなか違いがわかりません。東北弁ですからなおさらです。真っ直ぐに伸びる「ホオノキ」はこたつ櫓や、下駄の歯に使われます。木オノキは山里の周辺の低山によく生えています。葉は大きく、7枚ぐらいの葉が風車のよう輪にならて付いています。木村さんは70年前、

林業ボランティア 薪づくり

上田 和巳(第21、36、48次)

から林業ボランティア班長として委ねられました。石巻森林組合の山下さん(78歳)、佐川浩章さん(43歳)たちは待つておられました。山で何十年も生活の場として、植林、枝打ち、炭焼きなどをなさってきたベテランとお会いしましたから緊張します。山の麓にあり、すでに伐採された何種類もの木が何本も横長さは1mくらい、直径は20cmほどの材木があります。最初に、代表が木の種類について親しむように木村さんに説明をお願いしました。松、山桜、楓、栗などです。説明は受けるものなかなか違いがわかりません。東北弁ですからなおさらです。真っ直ぐに伸びる「ホオノキ」はこたつ櫓や、下駄の歯に使われます。木オノキは山里の周辺の低山によく生えています。葉は大きく、7枚ぐらいの葉が風車のよう輪にならて付いています。木村さんは70年前、

親しむように木村さんに説明をお願いしました。松、山桜、楓、栗などです。説明は受けるものなかなか違いがわかりません。東北弁ですからなおさらです。真っ直ぐに伸びる「ホオノキ」はこたつ櫓や、下駄の歯に使われます。木オノキは山里の周辺の低山によく生えています。葉は大きく、7枚ぐらいの葉が風車のよう輪にならて付いています。木村さんは70年前、

薪づくり



薪は、輪状の針金で結束して束ねます。出来上がった束が後でくずれないようにまずは大きな薪で針金の輪に収めて束の形を予め作っておきます。知恵の輪のよう

に大小の木を輪の中に巧みに詰めます。

小さな薪をトンカチ

などを使ってすきまに打ち込んで束がゆるまないよう仕上げます。外から見ても大木のように見えるように樹皮を外側にすることによつて、針金の食い込みを少なくする配慮など頭脳も使います。

薪割り機での裁断、針金輪の作成、薪の結束の3つの作業を分担します。班長として、全体の作業の進捗具合を見ながら、必要に応じて遅れていける行程に臨機応変に入ることで作業全体が停滞することがないように心がけました。これは一般社会の作業の進行と同じです。マニアカルにかかわらず要所に応じて隙間を埋めて行く作業が必要ということでしょう。

作業中は時折強い風が吹きますが、一生懸命に作業している間は結構体が温まってあまり寒さを感じませんでした。出来上がった束は、100束以上はあったかもしれません。一箇所に集めて作業を終了しました。できあがつた薪は近くの老人ホーム等の薪ストーブに使われると聞きました。自然の恵みを最後まで使い切ること。便利になった世の中では想像する機会すらなくなっていますが、昔からある人

間の営みとして忘れてはいけないことだと思います。

私は、京都でも自分の職場のボランティアとして森林活動に参加した際、同じ

ような薪割り作業もやつたこと

がありますが、ここまで集中し

たこれだけの量をこなしたのは

初めてです。今、森林活動の中

で問題になつていることのひとつ

に「ナラ枯れ」の被害がありま

す。樹幹に虫が潜入して菌が

増殖することで、木が枯死して

いくものです。京都・滋賀でも

この被害が問題になつてないので、木村さん

に尋ねてみました。「結局、人が森林に入る機会

が少なくなつて、枯れた木は薪のよう有効活

用することもないまま、長期間放つたかし。だ

から菌が繁殖するんで

しょう。」とおっしゃいました。昔から營まれて

いた自然のサイクルが

欠けてしまうことで、ツ

ケが回つてくるということを感じました。

(続く)



指導する木村貞一氏(左側)

法律相談初回無料。
お気軽にご相談下さい。

宮永法律事務所
みや なが たか し まつ だ やす お
弁護士 宮永亮史 弁護士 松田康生
〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14
0120-997-181
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

マナ助産院では、みな様の妊娠・出産・子育てを応援します

〒651-1123 神戸市北区ひよどり台2丁目30-6
TEL/FAX(078)742-3474
HP:<http://www.mana-mh.com/>

永原郁子
(神戸ひよどり台教会会員)

株式会社 チュチュアンナ
代表取締役社長
上田 利昭
tutu anna™

TAMANOHADA
代表取締役 三木 晴雄
〒130-0021 東京都墨田区練3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL:www.tamanohada.co.jp

MiYOSHi
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区練3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

SERVING MANKIND
Humanity First
「ヒューマニティ・ファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会



（序）阪神・淡路大震災は1995年1月17日午前5時46分に起きた地震により、6434名、東日本大震災は2011年3月11日午後2時46分に約2万人の命が犠牲になりました。あれから20年また4年、都市機能は「見回復したかのよう」見えますけれど、人間が置き去りにされたように思います。人間復興が大事ではないでしょうか。

いとおしい人との切ない別れに、「千の風になつて」の歌詞を聞いて涙ぐむ人も少なくありません。

「借り上げ復興住宅」の入居期限は20年です。独立暮らしの高齢者が多く、終の棲家を求めています。そこから出て行かされると、入居後築いてきた人間関係はおざなりになります。JR兵庫駅前の訪問しているキヤナルタウンも90%が高齢者ですが、どんどん追い出されるように移転しています。

阪神淡路大震災がボランティア元年と言われます。あれから20年、ボランティア道とは何でしょうか。

(1) ボランティア道とは何か

ボランティアは被災者が人生行路を誤らないように、苦海をいたずらに漂わないようにします。寄り添うように小さな働きを通じて、人々との関わりをもつています。

日本人だけでなく、人間は「○○道」とよく使います。茶華道、武士道、騎士道などございまます。聖書でも「道」「ギリシア語 オドス」は（人生の）行路、生き様、生き方を意味します。

ボランティアも人間である以上、時に判断を誤ることもあります。たとえば、丹波水害時のようないらないと断わりの行政発表があつたとしましょう。もう、ボランティアの役割は終わつたと関わりをやめててしまう早合点です。ドロ出し、がれき処理、物資援助から

「震災後のボランティア道」（前編）

ラジオ関西 15/01/09 午後6時30分～45分

（社）神戸国際支縁機構 代表 岩村 義雄

少しずつ軌道修正し、傾聴ボランティアに軸足を移していきます。「咲くまでは草と呼ばれる野菊かな」とさりげない触れ合いを続けていくことになります。見た目の回復や情報の荒波に翻弄されることなく、ぶれない働きを続けることが求められます。

1995年からボランティアのグループは表札のないお年寄りの家を戸別訪問してきたり、身寄りのない方の身元引受人になつたり、家事、買い物、散歩などにご一緒したり、メディアにも注目されない働きがなされています。

ボランティアは社会全体の制度を決め、運営に貢献するではありません。制度を支えるエネルギーを提供するのであります。ボランティアは外見上、わからないように縁の下の力持ちとわきまえます。

聖書の「隣人を愛しなさい」を黙々と実践します。

(2) 日本特有の復興姿勢

約20年経ちLSA（生活援助員）がおられても60%以上の被災者が独居孤独、激しい高齢化で見離されています。認知症、家賃の値上げ、健康面のむずかしさにほんろうされています。

日本は国土が狭く、他国との陸続きの国境もありません。狭いからこそ根付の国として手先の器用さによってきちんと完全なものを造ることができます。一方、大陸では細部にこだわるよりも60%以上の被災者が独居孤独、激しい高齢化で見離されています。認知症、家賃の値上げ、健康面のむずかしさにほんろうされています。

日本は国土が狭く、他国との陸続きの国境もありません。狭いからこそ根付の国として手先の器用さによってきちんと完全なものを造ることができます。一方、大陸では細部にこだわるよりも60%以上の被災者が独居孤独、激しい高齢化で見離されています。認知症、家賃の値上げ、健康面のむずかしさにほんろうされています。

仮設住宅にしても、家の中はきれいにしていますが、周囲は物を整理せずに雑然としています。チエルノブリ原発事故の後、農家を見渡してみますと、景観が日本より整っています。ですが、周囲は物を整理せずに雑然としていることが多いです。一方、大陸では細部にこだわるよりも60%以上の被災者が独居孤独、激しい高齢化で見離されています。認知症、家賃の値上げ、健康面のむずかしさにほんろうされています。

私たち自身の範囲を決めて、きちんとまじめ、誠実にやろうとします。ですから内と外が異なるのです。

神戸市長田区の御菅西地区は震災で約8割が焼けました。制度として、復興区画整理事業が行われました。被災した住民の8割は元の場所に戻ることを望みましたが、実際に戻ることができたのは3割足らずです。

復旧、復興、再建をなんとか制度で解決しようとしてきました。ハコモノのプロジェクトを考

え出します。神戸空港、地下鉄、先端医療技術などです。前より立派なものを造ろうとします。パブル経済がはじけ、地価は下がりつづけにかかりわらず、まだ右肩上がりの成長へとあります。震災前より立派に、より大きく、高くという発想で復興が進められてきたのではないかでしょうか。

（続く）

連載「むかし、むかし」（その四）

石巻の歴史より 阿部 捷一

河童の話がきっかけで、神戸国際支縁機構の岩村先生から一冊の文庫本をいただいた。

「遠野物語」（新潮文庫）昭和52年の六版であった。初版本は明治43年なので全く手に入らない。この文庫本も今では書店でも見かけなくなつた貴重なものである。岩手県遠野出身の佐々木喜善という文学者と兵庫県出身の柳田國男が出会つて出版され、柳田に日本民俗学を誕生させたきっかけになつた一冊である。前回、万石浦長者伝説を紹介したが、言い伝えの「五つ葉うつぎ」のその下に漆万杯、黄金億億の長者の伝説にも「朝日さし夕日輝く森の下、漆万杯黄金億億」とある。これらから察すると、昔東北地方を行き来した、薬売り、反物売りなどの旅の商人によつて語られた話があつた。この話は、神戸市長田区の御菅西地区で、震災で約8割が焼けました。制度として、復興区画整理事業が行われました。被災した住民の8割は元の場所に戻ることを望みましたが、実際に戻ることができたのは3割足らずです。



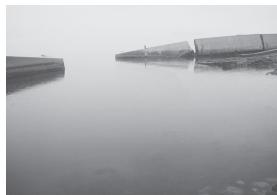
はばタン♪ 2月8日 デュオこうべで出店

特定非営利活動法人
み も ざ
TEL 078-262-0460
医療・保健介護・
福祉・教育に関する事業
共生社会の実現

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は
本 田 商 会
〒662-0051 西宮市羽衣町5-23
電話：0798-38-7560
FAX：0798-38-7561
お気軽にご相談ください。

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

夢に近づく
夢を産み出す…
KINSAN
KS 近畿産業信用組合
総合センター
0120-111-019



大船渡の破壊された防潮堤
2013年3月18日

手県南東部の大船渡を訪問。大船渡は太平洋に臨む約4万人の港湾都市。津波被害で死者340人、行方不明80人には巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経っているのに、及んだのは巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経ているのに、海岸保全施設護岸や堤防、防潮水門、防潮柵門)が流れ、無残にも崩れています。

津波から守る防潮堤

人々が住むのは川が海に注ぎ込む扇状地です。東日本大震災の津波は河川の堤防も乗り越えて、おびただしいビル、家をころがしました。²⁴昔から津波はたくさんの人々のいのちを奪ってきました。1933年、昭和三陸津波では岩手県宮古市田老地区では559戸の内500戸が流されました。人間はなんとか被害をなくそうと闘つきました。防潮堤、防波堤は最後の砦のようですが、1966年、世界最大の防潮堤が田老町に建てられました。車から見上げるほどの高さ10m、長さ2600mの分厚いコンクリートでできています。現代の「万里の長城」と言われ海外からも人々は見にやってきました。住民は安心し、どんどん家を建て続けました。「防災の町」として国内外に知られるようになります。

しかし、東日本大震災の津波は他の三陸沖の防潮堤と同じように土台からなぎ倒したのです。田老町は津波に呑まれ、死者179人、行方不明者6人です。

役に立たなかつた防潮堤

立派な防潮堤がかえって仇になりました。津波がやつてくるのが見えないばかりか、音も聞こえなくしました。避難経路があつても安全と思い込んでいる人間は逃げようと思いませんでした。2列もある防潮堤により、万全と信じていたのでしょう。防潮堤は人に慢心をもたらすのです。

2013年3月、和歌山大学講師間森誉司さん、看護師田平夢宇夜君と岩手県南東部の大船渡を訪問。大船渡は太平洋に臨む約4万人の港湾都市。津波被害で死者340人、行方不明80人には巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経っているのに、及んだのは巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経っているのに、海岸保全施設護岸や堤防、防潮水門、防潮柵門)が流れ、無残にも崩れています。

防潮堤

2013年3月、和歌山大学講師間森誉司さん、看護師田平夢宇夜君と岩手県南東部の大船渡を訪問。大船渡は太平洋に臨む約4万人の港湾都市。津波被害で死者340人、行方不明80人には巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経っているのに、及んだのは巨大防潮堤がこわされたからです。震災から2年も経っているのに、海岸保全施設護岸や堤防、防潮水門、防潮柵門)が流れ、無残にも崩れています。

育ちます²⁵。アマモは水中にたくさんの酸素を出します。

防潮堤について次のように報じられています。「震災前は防潮堤が遮り、大船渡湾は底層で無酸素状態でした。ところが、震災後は深さによる水温変化が小さくなつた。湾口内外の水温差もなくなり、低酸素状態も改善された。²⁶

三番目に、前より高くしても無駄な試みです。「過去最大級とされるのは慶長三陸地震(1611年)で、津波の高さ21mという記録もある。県はこうした津波の『発生頻度は低い』と判断。明治三陸(津波の高さ14.6m)や昭和三陸(同10.1m)など、数十年から百数十年に一度発生する地震『防ぐため海側の防潮堤の高さを14.7mとした』」と報じられています²⁷。

現代のバベルの塔

現在、青森県から千葉県の東日本太平洋沿岸で巨大な防潮堤建設が行われています。その規模は、岩手、宮城、福島の東北3県だけで総延長約370kmです。約8200億円もかかります。高さは10m前後で、高い場所も14m程度です。東北3県の砂浜はすでに全体の7%にまで減っています。

「彼らは、『さあ、天まで届く塔のある町を建て、有名になろう。そして、全地に散らされることのないよう』と言つた。」

(創世記十一・4)。

「バベルの塔」のように巨大な公共事業は「田・山・湾の復活」には無縁のものです²⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです²⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです³⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁴⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁵⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁶⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁷⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁸⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです⁹⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁰⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹¹⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹²⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹³⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁴⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁵⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁶⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁵。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁶。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁷。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁸。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁷⁹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸⁰。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸¹。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸²。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸³。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸⁴。

「田・山・湾の復活」には無縁のものです¹⁸⁵。